



小林鷹之からの手紙

たかゆき

世界をリードする国へ

地元の市長選、市議選、県議選では全力で応援

絆を力に。2019年 Vol.44 「討議資料」
衆議院議員

自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
(千葉市花見川区・習志野市・八千代市)



kobayashi-takayuki.jp twitter.com/kobahawk
www.facebook.com/hawk.kobayashi

平成31年 3月13日

衆議院
経済産業委員会

活動報告

自由民主党
1 小林 鷹之



5



2



3



4

小林鷹之の Profile
東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員3期目。元防衛大臣政務官。

会費無料

後援会に入会しませんか

ホームページからもお申し込みできます!

ご支援をお願い致します
SUPPORT

・ 後援会入会申し込み

・ 献金のお問い合わせ

●各種行事のご案内
●定期的に、ファックスマガジン、メールマガジンを配信
お問合せは、下記地元事務所までお願いします。

地元事務所 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-3-5 YYビル1階
TEL 047-409-5842 FAX 047-409-5843
国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室
TEL 03-3508-7617 FAX 03-3508-3997



6



7



8

①経済産業委員会で、世耕大臣に情報インフラについて質問②第二湾岸道路、国道16号、国道296号の渋滞緩和について国交省と打合せ③浄化槽法改正案(議員立法)について自民党環境部会で説明④JR幕張駅への快速停車について国交省鉄道局長と議論⑤週末の空き時間は街頭活動⑥八千代市緑が丘地区で後援会発足⑦中部電力の浜岡原子力発電所視察⑧「真の地産地消型エネルギーシステムを構築する議員連盟」を設立。会長は古屋衆議院議員。特別顧問に柏木東京工業大学特命教授⑨地元の小学生の皆さんが国会見学に⑩支援者の方の手彫り名札⑪東京で「明日の日本を語る会」を開催。二階幹事長、伊吹元衆議院議長、甘利党選対委員長、古屋元国務大臣、世耕経産大臣、柴山文科大臣、片山地方創生担当大臣、原田環境大臣、山下法務大臣など多くのご来賓がお越し下さいました



9



10



小林鷹之君と明日の日本を語る会 ⑪



世耕経産大臣



山下法務大臣

世界をリードする国へ

新しい元号が「令和」に決まりました。文化を育み、自然の美しさを愛でることができると平和な日々、心からの感謝の念を抱きながら、希望に満ちあふれた新しい時代を切り拓いていく。そんな思いが込められた御世にふさわしい国を創っていききたいと思えます。

現在、国際社会においては、米中の「貿易戦争」に加えて、英国のEU離脱に向けた動きにも混乱が見られます。国内においては、統一地方選挙に参議院選挙、重要な国際会議の議長国、消費税率の引き上げ、来年には東京五輪を迎えるなど、大きな行事が目白押しです。

その中において、希望に満ちあふれた新しい時代を切り拓くためにも、日本を「世界をリードする国」にしたい。

私はかねてから、**国家戦略の根幹をなすのが、経済戦略と安全保障戦略の二つ**であって、これら二つを支えているのが**イノベーション**、そして更にそれを根底で支えているのが**教育**(図1)、こうしたイメージを常に頭に描きながら、「経済」と「安全保障」が重なる部分にどう対応するかということに問題意識を持っています。

「安全保障」というと、防衛省・自衛隊を中心とする狭い意味での安全保障を指すことが多いですが、それを超えて、エネルギー・金融・通貨・先端技術・情報、こうした様々な政策を幅広く駆使して国を守っていく、より広い意味での安全保障、いわゆる「**経済安全保障**」を強化していくことが日本にとって喫緊の課題

図1



だと考えています。

経済・安全保障、そしてイノベーション、これらすべてに深く関わるのが「情報戦略」。

情報を制するものが世界を制する、と言われる時代の中で、残念ながらネット上では、グーグルやアマゾン等の、いわゆるGAFAMが覇権を確立しました。自分の個人情報や吸い上げられるのは嫌だからといって、今更グーグルなどを使わない生活は考えられないほどになりました。GAFAMに匹敵するプラットフォームが日本に生まれていないことは残念ですが、日本が世界をリード出来る分野があります。

それは、日本がリアルデータ、それも質の高いリアルデータの宝庫であることです。例えば世界に冠たる国民皆保険制度を通じた健康・医療データを使えば、予防医療や創薬イノベーションにも大きく貢献しますし、自動車の走行データは、自動運転に必要なダイナミックマップと呼ばれる地図の作成に役立ちます。

GAFAMを含めた世界が、こうしたリアルデータの争奪戦を始めている中で、この分野であれば、日本が世界をリードできると思っています。だからこそ私は、昨年来、まずは健康医療データのプラットフォームを早急に構築すべきと様々な場面で申し上げています。もちろん、個人情報保護を含めて、多くのハードルがあることは承知していますが、この分野で日本は世界に負けるわけにはいきません。最終的にはリアルデータ全体のプラットフォームを目指して、日本の英知を結集すべきだと考えています。

リアルデータのプラットフォームになるということは、それに

伴う情報インフラをしっかりと整備することが必要になります。特に、私たちの生活を根本から変える5Gの世界がすぐそこに来ている。5Gの世界では、それに見合った無線通信基地局、それらに有線で結ぶ光ファイバー・ネットワーク、そして膨大なデータを集積する巨大なデータセンターが必要になります。

情報インフラ整備については、日本は他国に水を空けられていますが、それらを構成する部品の多くが日本製であることなどを考慮すると、日本は今後、サプライヤー(供給者)ではなく完成品で勝負できる国、さらにはシステム全体で勝負できる国にしていく必要があります。また、こうした情報インフラのセキュリティを考えると、可能な限り、**国産**のシステムを構築することが望ましいと思えます。わが国の重要なデータが、アマゾンのような他国企業で管理されている現状に危機感を抱いています。「わが国のデータは、わが国が守る」という方針を持って、情報インフラの整備を国家戦略としてしっかりと位置付けるべきだと思います。

最後に、イチロー選手の引退会見の中で心に残った言葉を紹介します。「あくまでやはり自分の中に**ある。そのはかりを使いながら、自分の限界をちょっと超えていく**ということを繰り返していく。そうするといつの間にかこんな自分になっっている」

これからも皆様方にご指導頂きながら、国のために、自分の限界に挑戦していききたいと思えます。

平成三十一年四月吉日

林 鷹之